

## お年寄りがいる家族では・・・

## 医師が頑張る現場では・・・

### 高齢者・家族

市街地から離れた実家に暮らす  
高齢の父親は、遠隔診療により、  
かつての週に1回から今では月に1回へと  
通院負担が軽減され、データ・AIを活用した  
かかりつけ医による診療を無理なく受けられる。  
要介護状態の母親は、データ・AIを活用した  
最適なケアプランにより、要介護度が改善し、  
自宅で過ごす時間が増え、団らんを  
楽しんでいる。

新しい  
医療介護  
システム



昼夜にまたがる  
途切れない仕事

新しい  
医療介護  
システム

### 医療現場

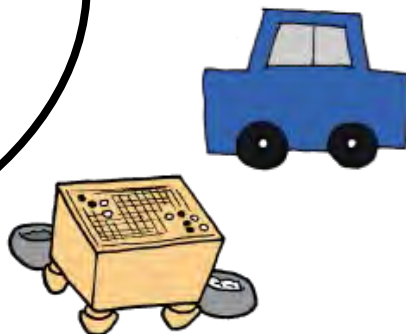
医師は、これまでバラバラだった  
患者の健診・治療・介護記録を、  
本人同意の下、確認。初診時や  
救急時に個人に最適な治療が  
いつでもどこでも可能に。

### 高齢者・家族

鉄道や路線バスが廃線となり、  
仲間との囲碁の会や買い物・通院に  
車を使用していた高齢者が、心配する  
家族から運転を控えるよう勧められていた。  
県道を走る自動走行バスと道の駅からの  
移動サービスが導入され、住み慣れた  
土地で、家族に心配をかけずに暮らし、  
外出も続けられている。

生活の足  
の不足

移動革命  
の実現



# 忙しかった現場では・・・

## 移動革命 の実現

### 物流現場

過密な  
スケジュール  
による負担



eコマースの進展に伴い、  
物品取引が飛躍的に増大して、  
ドライバー不足と長時間労働に直面。  
しかし、一人のドライバーが行うトラックの  
隊列走行によって大量の貨物が輸送可能、  
ドローンを活用した個別配送が一般化すること  
によって、大きな負担なく物流事業が継続でき、  
消費者ニーズに沿った新たな配送サービスが  
日々生み出されている。

### 建設現場

休日までの  
労働負担

## 快適な インフラ

これまで習得するのに何年も  
かかったノウハウも、ICT建機により短期間で  
身に付けられるようになる。週末返上で  
とりかかっていた工事でも、熟練工の  
長時間労働にしわ寄せせずに、土日の休日  
をきちんと確保することが可能に。



### 介護現場

昼夜にまたがる  
途切れない仕事

## 新しい 医療介護 システム

ロボット・センサー等の活用により、  
夜間の見守りなど職員の厳しい労働環境は  
大幅に改善され、その分、専門性を活かして  
個々の利用者に最適なケアの  
提供が可能に。



# 新たなチャレンジを する人たちは・・・

### IT専門人材

スキルアップ  
の手段・動機



ITベンダーで販売管理のシステムを  
古い言語（COBOL等）で開発していたが、  
30歳代半ばで、e-learningで新しい  
プログラミング言語（Python等）を習得。  
転職先のITユーザー企業で、顧客の好みに  
カスタマイズしたサービスを提供できる新たな  
システムの開発を先導し、海外のIT人材と  
比べても遜色のない給料で  
活躍している。

## 人材力の 抜本強化

### 若手

小学校でのプログラミングの授業を  
きっかけに、10年後の社会で自動走行車や  
ロボットが日常生活に溶け込んでいる姿を  
自分で設計したいと思い、大学の工学部に進学。  
情報工学、機械工学のみならず、経営学など  
他分野も専攻した後、ベンチャー企業を創業。  
大手企業との共同研究に邁進している。

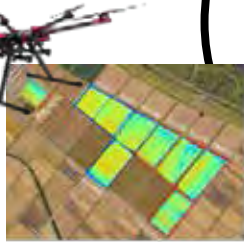


# 地域で頑張る人たちは・・・

データ  
利活用

## 農業現場

経験や勘のみに頼らず、**熟練農家の知識、生育状況や気象など様々なデータを駆使し、新規参入者でもおいしく安全な作物**を収穫でき、生産性向上や経営改善によって稼げる農業が広がっている。



## 観光地

**地元有志が設立したまちづくり会社やDMO（観光地域づくりの舵取り役）が、地域の銀行やファンドから資金や経営支援を得て、景観を整備し、空き店舗や古民家等の地域資源を再生。観光客の行動をデータ分析して、街の活性化と個々の事業者の生産性向上を実現。国内外からの観光客で四季を通じて賑わっている。**

専門家が  
個々別々に  
対応

地域経済  
好循環システム  
の構築

## 中小製造業

中小企業の現場に直接出向いてくれる専門家に相談し、**自社に合った低コストで機能的なロボット・IoTツールを導入**。製造プロセスの効率化に加え、**原材料仕入れ先や製品納入先とのデータ連携**によって取引先の工場の稼働状況や販売計画から**先回りした対応が可能**になった。系列外の企業との取引も生まれ、**年間の繁閑の変動を抑えつつ、売上を増やす**ことができた。

親事業者の  
都合に  
右往左往

## 小売

ITの専門性が特になくても**身近な税理士等の勧めでクラウドサービスを導入**（月額数千円～）。POSレジや受発注システムと連携して**売上・仕入データが自動生成**され、**経理や確定申告が簡単**に。データ分析とAIによって**商品の入替えと価格の最適化**を行い、**更なる顧客価値の高い新サービスを開始**。



新たな  
事業展開の  
模索

## 旅館経営者

売り上げ減に悩んでいた旅館経営者が、従業員に、**社会人講座でデータを活用した最新の接客業を学び直してもらった。利用客の好みなどの情報を全て「見える化」したシステムを使いこなす**ことで、利用客のニーズに合った丁寧なサービスを提供し、顧客満足度と売上増を達成している。

行政手続  
簡素化

役所対応に  
右往左往

## 中小企業

ある省庁に提出した情報については、別の省庁から同じ情報を求められることがなくなり、**行政側の縦割によって悩まされることがなくなる**。複数の補助金の申請を行う時でも、**同一事項は一回記入すればよい**。



人材力の  
抜本強化

サプライ  
チェーンの  
次世代化



# 毎日の暮らしでは・・・

# 日本を楽しむ 旅行者は・・・

規制の「サンドボックス」の創設

画期的アイデアが家庭に届かない

## 家庭

地元のベンチャー企業が新たな通信方式を元に、暮らしを便利にするサービスを考案。家庭内の冷蔵庫や電子レンジなどに蓄積される日頃のレシピデータや食材の使用データを相互に参照し、好みに応じた新しいレシピの提案や、足りない食材を自動で近所のスーパーに注文してくれるもの。現行の規制は新しい通信方式を想定していなかったものの、サンドボックスによって、すぐに実証を開始。当局も一緒になって実証データを確認。これによりスピーディにサービスイン。

## 消費者

日常生活のふとした機会に、着たい服をスマホで入力。自分にぴったりの寸法、好みの色・素材の洋服が、既製品とさほど変わらない価格・手間で購入できるように。

サプライチェーンの次世代化



## 旅行者

見知らぬ土地での右往左往

2020年オリンピック・パラリンピックで東京を訪れた国内外の様々なニーズを有する旅行者が、交通運行情報や施設情報を組み合わせた高度なナビゲーションにより、複雑な東京駅構内でも迷わずに乗り継ぎ、公共交通機関で会場や宿泊場所へスムーズに移動している。

データ利活用



## 生活者

FinTech

アプリを使って、毎月の家計簿は自動作成。友人への送金もスマホでできた。サービス申込み時の本人確認もオンライン。アメリカ留学中の息子への仕送りはブロックチェーンにより大幅に安価に。買い物で現金は使わない。

